



能登半島地震・豪雨災害支援のこれまでの取り組み

そして、これからも・・・

発行日：2024年10月28日
発行元：日本生活協同組合連合会
社会・地域活動推進部

【はじめに】全国の生協組合員の皆様へ感謝を込めて・・・

1月1日の震災後、被災された人々や地域へのあたたかなご支援をありがとうございます。皆様からこれまでお寄せいただいた支援がどのような形で被災地に届いているかを報告いたします。

1. 力強い応援！「募金」 集まった金額と使い道（使途）について

日本生協連からの呼びかけに対し、震災後から10月20日までに、216生協から17億円を超える募金が寄せられました。10月からは地震だけでなく豪雨災害への募金も始まりました。お預かりした大切な募金は、住民の生活再建を力強く後押しする義援金をはじめ、被災地で活動する地域団体への支援、コープ被災地支援センターを通じた物資提供や全国の生協職員と協力した災害ボランティアセンター支援の費用、地元生協であるコープいしかわが被災地を元気にする取り組みに活用させていただいています。

表：募金の使途（2024年9月現在）

用途	金額（千円以下切り捨て）
① 義援金（石川・富山・新潟の3県）	12億1,753万円
② 支援金（社会福祉協議会含む4団体への寄付）	800万円
③ コープ被災地支援センター・コープいしかわの取り組み	3,529万円
合計	12億6,083万円

※コープ被災地支援センター：石川県生協連が地域とつながりながら被災地を支援するために立ち上げたセンター。コープいしかわ・全国の生協、日本生協連はセンターを通じて様々な支援に関わり、取り組みます。

募金の使途① 義援金

「義援金」とは、全額が被災した人たちに公平に直接、配分されるお金です。各県が設置した義援金配分委員会で配分されます。新潟県に1.4億円、富山県に0.7億円、石川県に10億円の義援金を送りました。

募金の使途② 支援金

「支援金」は寄付先の団体が判断し被災地の復旧をはじめとしたさまざまな活動に迅速に役立てることができます。石川県社会福祉協議会他、被災地で活躍しているNPO法人等に寄付を行いました。

募金の使途③

コープ被災地支援センター・コープいしかわのとりくみ

■ 全国の生協職員による

災害ボランティアセンター支援

3月以降、全国の生協職員と力を合わせ、市町の社会福祉協議会（以下社協）が運営する災害ボランティアセンターで、活動を行いました（以下生協数・のべ人数）。

能登町 26生協 121人/穴水町 20生協 70人

10月からは活動場所が輪島市に変わりました。

※全国の生協職員は、ボランティアセンター支援のほかコープいしかわの配送トラックへの同乗支援などにも参加しています。

〈参加した生協職員が聞いた住民の皆さんの声（参加者の感想や振り返りから抜粋しました）〉

3月までは何もする気が起きなかったけれどやっと片付けようと思えるようになったのよ・・・

イカ漁が盛んだから、ホタルイカ漁が始まったら泊まりに来てね。

避難所ではホームシックになってずっと泣いてすごしていたの。

これまで続いた和菓子屋を閉めなければならない。芋菓子のレシピを誰かに託せたら・・・。



▲災害ボランティアの現場
廃棄しなければならない家財等を軽トラックに積んで災害ごみ集積場に運びます。



▲ローラー作戦
能登町では地域住民のお宅を訪ねボランティアニーズの掘り起こし活動をしました。



▲ボランティアセンター運営支援
ボランティアさんたちに、活動案件の説明と割り振りをしています。

■ 物資の支援

・飲料やお菓子の提供

5月～ボランティア向けの飲料やサロン活動用のお菓子を、地域で活動する団体を通じてお届けしました。

・ボランティアセンター向け飲料の提供

暑い夏、ボランティアさんたちの熱中症予防のため市町の社会福祉協議会（災害ボランティアセンター）に飲料をお届けしました。



実はこんな取り組みも・・・

・2月～避難所への朝食支援

災害救助法に基づき自治体からの要請で、輪島市の栄養士さんと相談しながら避難所に朝食セットをお届けしました（募金外）。※8月末までに25箇所の避難所にむけて31万食以上提供しました。



■ 仮設住宅への「調味料セット」のお届け

「支援物資をもらっても料理をするには調味料が必要。仮設住宅に入居してすぐにお料理ができるように…」と「調味料セット」に、コープいしかわ組合員理事さんの手書きの「メッセージ」を添えてお届けしています（9月18日まで、のべ183箇所、4,895世帯へお届け）。

「被災された方たちに気を使わせないように…」と入居前の誰もいないお部屋にそっとお置いてくるようにしています。



ご家族が「調味料セット」を受け取って

仮設住宅に入居した義祖母からCOOP調味料セットをいただいたと教えてもらいました。祖母だけでなくご近所の皆さんも大層喜んでいただけたとのこと。仮設住宅へ入居できたことは一歩前進ですが、身の回りのものが何一つない状況ですので、とにかく生活するためにお金がかかって大変とのこと。支援物資では自立生活に必要な物はなかなか無いので、調味料セットはありがたいものだと思いました。

■コープいしかわ組合員に呼びかけたボランティアバスの運行

コープいしかわでボランティア登録をしている組合員に呼びかけ、隔週でボランティアバスを走らせ、被災地で活動をしています。



輪島市での活動▶
被害に遭った家財を運び出して災害ごみ集積場へ運びます。

◀穴水町での活動

穴水町の災害ボランティアセンター前で！



♪コープいしかわでは、ボランティアバス以外にも、これからピースコンサート等の文化企画など、被災地に元気と笑顔を届ける活動を計画・実施していく予定です。

2. 「買い支え」による取引先の応援

全国の様々な生協で「北陸応援」の企画が実施されました。2024年3月に約6,500人の組合員を対象としたアンケートで「復興応援商品を購入した」という約2,300人の方が商品を選んだ理由の1位は「復興支援につながる商品だから（86%）」でした。「できることで応援したい」というたくさんの組合員の気持ちが伝わります。

(株)スギヨ様

温かく応援してくださるお客様の声や商品を手に取ってくださることが一番の励みになっています。

食べて応援！ 応援消費おねがい

私たちが作っています。

地震の発生が確認し、工場も揺れましたが、なんと約2月半に工場が復旧し、約3ヶ月以内に製造された商品が希望の売場に届きました。震源地に近かったため被害が深刻でしたが、被害を乗り越えて元気に活動することが一番の励みになっています。

CO-OP 蟹足風カニカマダブルパック

みやげ食品様

食べて応援！ 応援消費おねがい

私たちが作っています。

1月の地震で、従業員の方々が被災しました。工場も物が倒れたりしましたが、復旧し2週間後には製造を開始しました。

CO-OP 5種の具材入り 茶わんむし

3. 加入者同士の助け合い CO・OP 共済の契約者訪問活動

CO・OP 共済には、地震・噴火・津波などの大規模災害でお住まいの住宅に一定以上の被害があった場合に、共済加入者一世帯につき1件のお見舞金をお支払いする「異常災害見舞金制度」があります。「大変な思いをしている能登の加入者に1日でも早くお見舞金や共済金をお届けしたい」という思いで、全国の生協職員とコープ共済連職員が協働で契約者のお宅を1件1件訪問し手続きを進めました。訪問時には、全国の組合員の皆様から折ってくださった折り鶴も一緒にお届けしました。CO・OP 共済のお見舞金や共済金は温かい想いと一緒に被災された加入者に届いています。

■異常災害見舞金お支払い実績 3,332件 7,460万円（2024年9月30日現在）

活動に参加した生協職員の声

お孫さんが学生総合共済に加入している方が、「来てくれるだけでありがたい」「他の方のこともよろしくお願いします」と涙ながらにお話してくれ、今回の取り組みの意義を強く感じました。

共済加入者の声

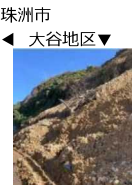
能登半島地震で家が全壊。津波から何とか逃げることができ、家族は皆無事でしたが親戚や知人が何人も亡くなりました。そんな時にコープさんから異常災害見舞金の案内を頂き、思いがけない見舞金を頂く事が出来ました。何かと物入りの中ではありますが家族で『元気が出るように！』とお刺身を買ひ、笑顔で食卓を囲む事が出来ました。ありがとうございました。



豪雨災害後の街の様子 コープいしかわから、地域を回り撮影された写真をご提供いただきました



堆積した泥をよけ、車が通れるようになっています。



土砂崩れの様子。



▲輪島市大沢地区
木が倒れているところは川だったとのこと。



▲輪島市皆月地区
かなりの量の木と泥が堆積しています。

組合員さんからは、「なんで私らばかり…」との声をききます。そんな中でも笑顔で対応できるよう、職員も頑張っています。



コープいしかわ
荒井執行役員

どこよりも長く、そしてどこよりもきめ細かくよりそって！

奥能登エリアの組合員の生協利用状況は震災前と比較して、穴水町、能登町では9割、輪島市、珠洲市では6割強までしか回復していないとのこと。コープいしかわの職員の皆様も事業や活動を通じて組合員・地域のために日々奮闘されています。

本紙にてご報告した内容以外にも、それぞれの生協が独自で取り組まれている被災地への支援もたくさんあります。被害に遭われた皆さんのくらしと気持ちに寄り添いながら全国の生協が力を合わせて活動していけるよう、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。